

中野区立第四中学校は東京都の中心部にありますが、校内には樹木が多く、校歌にも4種の樹木が歌われています。そこで、校庭に生育する樹木をより深く知るため、1年生の総合的な学習の時間(10時間)で、森林インストラクターをゲストティーチャーに招いて森林環境教育を行いました。

1. 樹木を知ろう (1時間)

樹木に親しむむ入口として、スライドショーを見ながら自然界での樹木の役割や校庭の樹木の役割を考えてみました。樹木クイズの形式で生徒が話題に参加し、いろいろな質問をしました。

校庭の
樹木を知ろう

つかむ



ふれる



2. 校庭に生育する樹木を調べる (3時間)

校庭をブロックに分けて、班別に過去の資料を参考にして樹種名を調べた後、インターネットや図鑑を利用して樹木の特徴や利用方法を調べました。

校庭の樹木の
名前・生態・文化を
調べよう

深く
調べる

3. 樹木を測定 (2時間)

幹周りや高さを調べてから樹木の体積を計算し、炭素量や二酸化炭素量に換算しました。私たちが出している二酸化炭素の量と校庭に生育する樹木の蓄積量を比べて考えました。



調べる

校庭の樹木が、地球
温暖化の原因とされる
二酸化炭素を、どれだけ
蓄積しているか調べよう

まとめる



4. 樹名板の作成・設置 (4時間)

板を切って、やすりをかけ、アクリル絵の具を使って樹名板をつくり、樹木に設置しました。

調べたことを
まとめて、
発表しよう

広げる



家族や友だち、校区の人たちに調べたことを伝えよう